

3年生を対象に発行しています

京都市立九条中学校

進路だより



No. 1

2021.4.9

～毎日自分に勝てる人が
夢を叶えられる～

希望の進路の実現を目指して



義務教育最終学年の3年生がスタートしました。ある意味、自分で自分の人生を歩み始めるスタートラインです。人は誰もみな充実した幸せな人生を送りたいと思っています。そのためには、自分の「進路」について真剣に考えることが必要になってきます。進路とは、目の前に迫っている「進学」や「就職」のことだけでなく、自分が将来どんな生き方をしたいかということです。そのための1つのステップが中学校卒業後の「進学」「就職」なのです。

最近、高等学校における中途退学者が増えています。中途退学者の背景としては、「友達が行くから」とか「親が勧めるから」といった無目的な入学や「希望していなかったが、成績の関係でやむを得ず」といった不本意な入学が考えられます。「成績がちょうど合っていたから」というだけで学校を選んだ人もいます。表面的なことだけで中学卒業後の進路を決めることは、大切な自分の人生を棒に振る結果にもなりかねません。自分の進路を考えることは、「将来どのような生き方をしたいか」を考え、そのためには「どのような職業に就けばよいのか」、「その職業に就くにはどのような資格が必要なのか」、「その資格を得るためにはどのような学校に進学すればよいのか」などを考えることです。

来年の今頃は、それぞれの道を歩いていかなければなりません。自分の進路を考え、決定するためには、正確な情報を収集し、的確なアドバイスのもとに進路選択を行っていく必要があります。そこで、この進路だよりでは、3年生のみなさんに必ず知っておいてほしい情報や、考えてほしいことを載せていきます。3年生のみなさんだけでなく、保護者のみなさんにも知っておいてほしい情報も掲載するので、必ず保護者の方にも見てもらってください。

1・2年生のみなさんへ

進路だよりは3年生を対象とした内容になっていますが、1・2年生にも発行します。ぜひ、進路選択の参考にしてください！

1年生・2年生も、まずは1時間1時間の授業に集中しよう！
今になって、1・2年生の時の大切さがわかります。

(卒業した先輩からのアドバイス)





毎日自分に勝てる人が夢を叶えられる

「自分自身と戦って、毎日自分に勝てる人が夢を叶えられます！」この言葉は、オーディションで満足のいかない結果を残した練習生に『Nizi Project』の総合プロデューサーのJ.Y.Park がかけたことばで「優れた素質を持っていても、日々自分自身にムチを打ち、努力を続けなければ才能がしっかり発揮できない」ということを伝えたいという思いから出た言葉だそうです。J.Y.Park 自身も「毎日退屈でやりたくないことをコツコツと繰り返し努力を重ねているから歌手という仕事を続けられている」とも言っています。夢を叶えるのは、環境でも、周りの人でもなく「自分自身の意志」にかかっていることに気付かされます。みなさんも「もう少し寝ていたい」、「もう少しゲームをしたい」、「もう少し YouTube を見たい」という気持ちに打ち勝って、進路の選択肢を増やすことにつながる学習の時間を増やしていきませんか。

第1回進路希望調査を行います！

「えっ、まだ3年生が始まったところなのに・・・」と思うかもしれませんね。3年生では、年に4回進路希望調査を実施します。時期としては家庭訪問や懇談の前などです。義務教育最終学年の今年1年は、全ての活動・行動を進路に結びつけてほしいと思います。そのためにも、進路希望調査を中学校卒業後どのような進路に進めばよいのか、自分自身でしっかりと考えるきっかけにしてください。また、この調査を通して保護者の方とみなさんが進路について話すきっかけになればとも思っています。もちろん、最終の決断をくださるのはみなさん自身ですが、保護者の方の理解や精神的・経済的な支えが必要です。しっかりと話し合い、今日の学年集会や学活での説明を参考にして、できるだけ正確に書いてください。そして、この進路希望調査に書いたことは、そのままみなさんの目標にもなります。その目標を達成するために、「今の自分はどうなのか」、「どんな努力が必要なのか」などを考えてみてください。とはいえ、進路希望が4月の段階で具体的に決まっている人は少ないと思います。1回目よりも2回目、2回目よりも3回目、と勉強の進み具合・進路情報などを基にしながら、煮詰め、絞っていきましょう。そして、あやふやなものをより確かなものにしていき、12月の懇談で、悔いのない選択ができるようにしていきましょう。

締め切りは4月15日(木)です。
提出物の締め切りは必ず守りましょ



う!